

地域未来フォーラムにおける主な意見の反映状況

(地域未来フォーラム開催実績)

地域	日付（令和3年）	会場
神戸	11/26(金)	ふたば学舎（長田区）
阪神南	10/28(木)	尼崎商工会議所
阪神北	11/13(土)	三田市まちづくり協働センター
東播磨	11/20(土)	兵庫県加古川総合庁舎
北播磨	11/1(月)	オンライン
中播磨	11/14(日)	アクリエひめじ
西播磨	11/9(火)	オンライン
但馬	10/30(土)	兵庫県豊岡総合庁舎
丹波	11/24(水)	共創型コミュニティ施設「mocca」
淡路	11/12(金)	オンライン

※各フォーラムでの主な意見とこれを踏まえた新全県ビジョン本体案のめざす姿の記載案を掲載

【神戸】

■ 毎日の暮らしをもっと楽しむ

- ・日常をイベントのようにしたい。毎日の暮らしの中にもっと面白いこと、アート、楽しいことを埋め込む。それが特別なことではなく、誰もがやっているような地域をつくりたい。

めざす姿⑥ わきたつ文化

- 多くの人が生活の中で創作、発表、鑑賞を楽しんでいます。多彩な表現活動が暮らしに彩りと刺激を与え、人々の感性や創造性を高めています。伝統的な芸術文化も次の世代に受け継がれています。
- 誰もが芸術文化を享受できる環境が整い、芸術文化の盛んな地域として兵庫が世界のアーティストの憧れの場所となっています。

■ いろんな人の出入りがある感度の高いまち

- ・「新しい」がキーワード。廃れていたニューヨーク・ブルックリンは、いろんな新しい人が入ってきて感度の高いおしゃれなまちに発展。神戸もそんなまちをめざしたい。

めざす姿⑤ わきあがる挑戦

- いろいろな実験ができる地域の多様性、超高速の通信基盤、充実した伴走型支援などの環境の魅力で、起業をめざす人材が集まり、新しい事業に挑んでいます。人が人を呼ぶ好循環が生まれ、地域に応援されながら、斬新なアイデアで社会課題の解決に取り組む起業家が次々と生まれています。

めざす姿⑥ わきたつ文化

- 兵庫のものづくり産業、地場産業が進化しています。培ってきた伝統と、新しい発想からの革新の融合により、世界を魅了する産物を生み出しています。

【阪神南】

■ ビジョンを持ったまちづくり

- ・ヨーロッパのように、日本も長期のビジョンを持ってインフラを整備する必要がある。芦屋市の景観条例のように、みんなで合意した目的を持ってまちづくりを進めていけば、魅力的なまちになり、人は集まってくる。

めざす姿⑭ 分散して豊かに暮らす

- 自らの力で地域をより良くしようとする協働のまちづくりが根付いています。住民主導のエリアマネジメント組織が各地に生まれ、人間中心にデザインされた街路や賑わいを生むオープンスペースが増え、歩いて楽しめる魅力的なまちが形成されています。

■ 一人ひとりの個性を大切に学校教育

- ・今の若者は、社会は変えられないと思っている。学校教育の自由度を高めて、好きなこと、得意なことを伸ばせる環境、小さな意見やアイデアが生まれやすい環境をつくる必要がある。

めざす姿④ みんなが学び続ける社会

- 答えのない時代を生きるのに必要な自発性や創造力を育むため、ツールとしてICTを最大限に活かしつつ、学校・家庭・地域で対話を重視した探求型の教育が行われています。教員も親も地域の大人たちも子どもの個性を伸ばすことに注力しています。
- 誰もが学びたいときに学びたい場所で学ぶことができ、新たな知識や技能を身につけられる環境が整っています。年齢を問わず、新しいことを学び続け、新しいことに挑戦し続ける人が増えています。

【阪神北】

■ 共感が生む地域の支え合い

- ・子育てママのコミュニティでは、支援される側が、いつの間にか支援する側へ回ることが多い。大人も子どももみんなが共感し、学び合って変化していく。ただ住民になるのではなく、地域に関わりながら暮らしていくことが、地域への愛着にもつながる。

めざす姿⑧ 安心して子育てできる社会

- 地域に子どもを見守る意識が広がり、地域の緩やかなつながりの中で子育て家庭が支えられています。知り合い同士の助け合いや共同保育の形も広がり、支え合う関係の中で、どんな家族も孤立することなく、安心して楽しく子育てができます。

めざす姿① 自由になる働き方

- ボランティア活動や地域活動など複数の場で活躍する人が増えています。誰もが社会の中に自分なりの役割を見出し、時間を使い分けながら、それぞれの場で誇りを持って活動しています。

■ 世代を超えた交流が大切

- ・ 学生と社会人、地域の方をつなげる場を運営している。学生たちは、まちに入り込んで活動し、楽しかったという活動から地域に愛着を持つ。特に若者や子どもたちが普段関わることのない人と世代の垣根を越えてつながっていけるまちにしたい。

めざす姿② 居場所のある社会

□ 属性を超えた活発な交流が地域を越えて広がっています。多様な人々との交流とそこから生まれる温かい人間関係が暮らしの質を高めています。

めざす姿④ みんなが学び続ける社会

□ 兵庫が先導する幅広い体験学習を通じて、子どもたちが社会への関心を深め、社会の担い手として成長しています。自然、文化、産業の実物に触れたり、地域の大人と対話したりする機会が豊富にあり、社会全体が学びの場になっています。

【東播磨】

■ 日常に根付く祭りや文化が地域を元気に

- ・ 地域の小さな祭りが人やまちを元気にする。若者の参加を増やそうとしているが、過疎化しているので担ぎ手がいらない。新しい人が祭りに入っていきづらい。伝統文化をはじめ、芸術やスポーツが何気ない日常に根付いている地域をつくりたい。

めざす姿⑥ わきたつ文化

□ スポーツや食も含む幅広い意味での「文化」を暮らしの中心に据える県民が増えています。文化が地域の活力と豊かさを測る尺度になり、地域がこぞって文化的な活動を拓げる社会になっています。

□ 多くの人が生活の中で創作、発表、鑑賞を楽しんでいます。多彩な表現活動が暮らしに彩りと刺激を与え、人々の感性や創造性を高めています。伝統的な芸術文化も次の世代に受け継がれています。

■ 自然を身近に感じ一人ひとりが環境に目を向ける

- ・ 森や山、畑や田んぼなど自然の中での活動を広げたい。農業や豊かな暮らしを守ることもつながる。山を守れば、海も豊かになる。みんなが自然や環境に目を向け、世界的な課題を自分事として考えていかなければならない。

めざす姿⑬ カーボンニュートラルな暮らし

□ 大量に生産、消費、廃棄する時代は終わります。移動手段の脱炭素化が進み、再生可能エネルギー由来の電力を使う住居も普及し、衣料・食料などでも脱炭素を志向するライフスタイルが定着しています。

□ 農村や森林が有する公益的機能への理解が深まり、防災、生態系保全、水源涵養、景観形成などの価値を生むものとして、農林業が大切にされています。

【北播磨】

■ 地域のストーリーを育てる

- ・加東市の「テロワール」を活かして、そこで体験してもらえる酒米づくり・酒づくりのストーリーを発信したい。これは酒米を作る人たちのモチベーションアップになる。作る意欲、やる気が出る仕組みを自分たちでつくる。
- ・形のないものに対して価値を見出すのが日本は苦手。エルメスの鞆を買うのは、丈夫で長持ちするからじゃなくて、エルメスが持つストーリーを買うのだと思う。

めざす姿⑩ 循環する地域経済

- 各地の地場産業がデザイン性や物語性を武器に存在感を高め、国内外でファンを獲得しています。事業が継承され、地域の持続的発展に貢献しています。

■ 人をつなぐまちづくり

- ・まちづくりには、県民と自治体、大学、専門家をつなぐ役割が重要。個人が解決できる問題は大きくないが、つなぐ役割を持つ法人がうまくコーディネートすることで、県民が活躍するフィールドをつくるのが今後必要。

めざす姿⑤ わきあがる挑戦

- 兵庫が阪神・淡路大震災を契機に全国に広がったボランティア活動の一大拠点であり続けています。福祉や子育て、文化や環境保全など、幅広く民間非営利団体の活動が展開され、新たな取組も次々と生まれ、多くの人が楽しく役割を担っています。

めざす姿⑭ 分散して豊かに暮らす

- 自らの力で地域をより良くしようとする協働のまちづくりが根付いています。住民主導のエリアマネジメント組織が各地に生まれ、人間中心にデザインされた街路や賑わいを生むオープンスペースが増え、歩いて楽しめる魅力的なまちが形成されています。

【中播磨】

■ 地域に多様な学びの選択肢を

- ・今の小学生は学校や塾が忙しく、宿題の山に追われて疲れ切ってしまっている。海外と日本の教育の差が大きい。もっと伸び伸びとした教育で、夢をつかみ取ろうとする若者を育てていく必要がある。

めざす姿④ みんなが学び続ける社会

- 答えのない時代を生きるのに必要な自発性や創造力を育むため、ツールとしてICTを最大限に活かしつつ、学校・家庭・地域で対話を重視した探求型の教育が行われています。教員も親も地域の大人たちも子どもの個性を伸ばすことに注力しています。
- 地域に多様な学びの選択肢があり、子どもたちは自分に合った場所で安心して学ぶことができます。都市と多自然地域の子どもの同士の交流や、各々が互いの学校で自由に学べる環境も整っています。

■ 多様な選択肢のある日本一住みやすい兵庫

- ・オール兵庫で、日本一住みやすいまち・子育てしやすいまちを打ち出せたらいい。リモートワークが広がるなか、都会へのアクセス、自然との共生、多様な第1次産業など、時代に合った生き方・働き方の選択肢を示すことが大切だ。

めざす姿⑧ 安心して子育て出来る社会

□子育てを優先できる労働環境が整っています。勤務形態や時間、場所などを自由に選べる働き方が広がり、ゆっくり子どもと向き合う時間を持てます。家族団らんの時間が増えています。

めざす姿⑭ 分散して豊かに暮らす

□社会のデジタル化に伴い、人口の大都市集中が緩和し、自然に近い場所で暮らす人が増えています。都市と多自然地域が近接する県土の多様性を活かしてワーケーションや二地域居住、多拠点居住のライフスタイルが広がり、副業で農業や狩猟に携わる人も増えています

【西播磨】

■ 地域ビジネスをみんなで応援できる仕組みづくり

- ・起業するとき助けになったのが、県人会の方々に投資いただいたこと。地域に関わりのある人がどんどん参加して、地域づくりや事業に投資してもらえるようなコンソーシアムのようなものができたらいい。起業促進だけでなく移住や雇用拡大にもつながる。

めざす姿⑩ 循環する地域経済

□住み働く地域の中での人と人のリアルなつながりから創造的な仕事が次々と生み出され、住民に応援されながら小さなビジネスとして自立しています。

□地域の内外を問わず志を共有する人々がチームを組み、地域の資源を活かして地域の課題解決に挑むコミュニティビジネスが盛んに行われています。

■ 田舎への投資やアイデアを活かせる基盤づくり

- ・田舎も海外企業を含め最先端のビジネスのフィールドになり得るのに、通信環境など、事業を行なうための基本的インフラが脆弱なためにチャンスを逃していることが多い。

めざす姿⑫ 活動を支える確かな基盤づくり

□兵庫が誇る超高速の通信基盤と基幹道路ネットワークをはじめとする充実した交通基盤が自由な社会経済活動を支えています。

【但馬】

■ 多様性の中から新しいものが生まれる

- ・息子・娘は、ずっと同じコミュニティで育ってきたので、外に出た時が心配。アートや自然、外国人と関わる活動は多様性に触れる。常識を壊す体験が大事。

- ・ いろんな枠組みから「はみ出す」価値観が生まれたときに面白くなるんじゃないか。子どもたちに「自分たちの親は、もっとはみ出たぞ」と思ってもらえたらいい。

めざす姿⑤ わきあがる挑戦

- いろいろな実験ができる地域の多様性、超高速の通信基盤、充実した伴走型支援などの環境の魅力で、起業をめざす人材が集まり、新しい事業に挑んでいます。人が人を呼ぶ好循環が生まれ、地域に応援されながら、斬新なアイデアで社会課題の解決に取り組む起業家が次々と生まれています。
- 失敗を貴重な経験として評価する社会になり、何度でも挑戦できる環境が整っています。失敗しても暮らしの心配をせずすみ、再挑戦するときには資金面の支援などで不利になることもありません。
- 社会課題の解決や新しい価値の創出に取り組むマインドを引き出す教育が行われています。地域に多くのチャレンジの機会があり、多くの若者が周りに応援されて一步を踏み出しています。自分たちにも社会を変える力があると感じる若者が増えています。

■ 「すいません」より「ありがとう」の広がる社会

- ・ 高齢者、障害者、外国人、子育てママまで、それぞれいろんな居心地の悪さを抱えている。「すいません」「ごめんなさい」といつも遠慮しなきゃいけない社会ではなく、地域の人の温かい言葉や支えに「ありがとう」と言って子育てできる社会でありたい。

めざす姿⑦ みんなが生きやすい地域

- 暮らしの中で多様な文化や価値観に触れる機会が増えています。対話を通じて異なる文化や価値観を持つ人への理解が深まり、他者を尊重し、意見の違う人の立場に立って考える力が育まれています。
- 年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが気兼ねなく安心して旅行できる環境が整っています。
- 「SOGIE」の考え方が広がり、性の多様性への理解が深まっています。多様なあり方を支える環境が整い、性別に関わらず、誰もが自分らしく暮らせる社会になっています。

【丹 波】

■ 大人が楽しく生きる姿を見せる

- ・ 子どもたちは都会に目が向いている。大人が楽しく生きている姿を見せて、田舎はいいところだということを教えていかないといけない。ここで自信を持って生きていく姿を大人が子どもに見せる必要がある。

めざす姿⑭ 分散して豊かに暮らす

- 風土、歴史、文化などに根差した地域の風景をつくる取組が広がっています。その地の風景が住民の誇りとなり、地域への愛着を育んでいます。そうした地域で楽しく生きる大人を見て育った子どもたちは大人になっても地域と関わり続けています。

■ 自立した地域経済で持続可能な社会を先導

- ・地球温暖化で林業や山のことが注目を浴びているが、担い手がない。そこにスタートアップが入っていける仕組みづくりが必要。地域材が地域で回るようなサプライチェーンを構築して、環境に優しい社会システムをつくり、発信していきたい。

めざす姿⑩ 循環する地域経済

□廃棄物を資源に変え、化石燃料にも依存しない「循環経済」への転換が進んでいます。持続可能性と収益性を両立する地域経済が実現しています。

めざす姿⑮ 暮らしの持続に貢献する産業

□多様な地域特性が凝縮された「日本の縮図」兵庫における社会課題の解決に向けた取組が国内外のモデルになっています。兵庫の企業や地域の取組が広く発信され、そのアプローチを学びに国内外から多くの人が県内各地を訪れています。

【淡 路】

■ 社会課題の解決を先導するワーケーションモデル

- ・地方でのワーケーションの問題点は、夜にお店がしまること、車がないと移動ができないこと。だが、洲本市街地の城下町は「ほどよい田舎」で飲食店がたくさんある。お店の人と仲良くなってリピーターになる人が多い。ワーケーションのモデルになれる。

めざす姿⑮ 暮らしの持続に貢献する産業

□多様な地域特性が凝縮された「日本の縮図」兵庫における社会課題の解決に向けた取組が国内外のモデルになっています。兵庫の企業や地域の取組が広く発信され、そのアプローチを学びに国内外から多くの人が県内各地を訪れています。

■ 分散型社会に向けた移動・交通システム

- ・淡路の課題は公共交通。様々な実証実験が進んで、拠点都市から洲本へ入る1次交通は充実しつつある。あとは島内の2次交通。移動・交通の新しい技術・サービスも踏まえながら考えていく必要がある。

めざす姿⑫ 活動を支える確かな基盤

□兵庫が誇る超高速の通信基盤と基幹道路ネットワークをはじめとする充実した交通基盤が自由な社会経済活動を支えています。県内を覆う道路網は自動運転に対応しています。多様な乗り物を自由に選択して動き回るMaaSの仕組みが整い、あらゆる地域で移動手段が確保され、乗り物のシェアリングサービスも広く普及しています。自転車道が整備され、自転車を通勤・通学や観光で使う人が増えています。